

2019年3月12日

天皇の代替わり儀式に抗議する 特別公開講演会

本年行われる予定の天皇の即位儀式は、神道式によって公費が用いて行われます。これは国家による偶像崇拝に他なりません。政府は4月30日から5月2日までを休日としましたが、本校教授会はこれに抗議する意味で通常の授業を行うことを決議し、併せて天皇制について考える公開講演会を行うこととしました。真の王である主によってこの国に建てられている教会の使命を確認し、国家的為政者と教会のために祈る機会です。是非ご出席くださるよう、ご案内申し上げます。

<日 時> 2019年4月30日 (火) 13時30分～15時30分

<場 所> 本 校 チ ャ ペ ル

<講 師> 袴田康裕教授 (歴史神学担当)

<講演題> 「キリスト者は天皇制をどうとらえるべきか」

<講師より>

キリスト者が天皇制を理解するために、少なくとも三つの視点が必要だと思います。第一は日本国憲法による天皇制の視点、第二は宗教的存在として天皇を把握する視点、第三は天皇制が社会でどういう役割を果たしているかの視点です。とりわけ、天皇がこの国において果たしている霊的役割を見逃すことはできません。講演では私自身の公務員時代の天皇体験を含めて、分かりやすく話したいと思っています。

<講師プロフィール>

1962年、浜松市に生まれる。大阪府立大学卒業後、8年間大阪府庁に勤務。その後、神戸改革派神学校、スコットランド、フリー・チャーチ・カレッジに学ぶ。1996年から2013年3月まで、日本キリスト改革派園田教会牧師。現在、神戸改革派神学校教授 (歴史神学)。

神 戸 改 革 派 神 学 校

〒651-1306 神戸市北区菖蒲が丘3-1-3

TEL 078-952-2266 FAX 078-952-2165

e-mail : rcj-kobe2266@nifty.com